

部局名	健康福祉部	所属名	健康福祉課	所属長名	川島 範男	電 話	483-1151 内線2210
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3207		事務事業名称	環境衛生事務事業					短縮コード	経常	3207	臨時	3570
予算区分	会計	01	一般会計	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	03	環境衛生費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		八千代市墓地等の経営の許可等に関する条例，四市複合事務組合同規約							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
昭和52年度から，船橋市・習志野市・八千代市・鎌ヶ谷市の4市で運営している馬込斎場に係る管理・運営に要する経費を負担する。（習志野市は平成5年度より参加）													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして						
近年の高齢化の進展に伴い，火葬利用者数が増加しているため，第2斎場（火葬場）の整備が検討されている。					大項目（節）	02	社会福祉						
					中 項 目	07	墓地・斎場						
					小項目（施策）	02	斎場の整備						
					細 項 目								
				実施計画の計画事業	1210	斎場の整備推進事業							
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		平成13年4月 ～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	馬込斎場の運営 船橋，八千代，鎌ヶ谷，習志野による共同運営である。							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： ①馬込斎場を運営する四市複合事務組合へ分賦金を納入した。 ②四市複合事務組合運営協議会及び馬込斎場連絡協議会に参加し，火葬場運営計画等を協議した。 ③第2斎場整備の検討を進めた。							
	※平成22年度に計画していること： ①馬込斎場を運営する四市複合事務組合へ分賦金を納入する。 ②四市複合事務組合運営協議会及び馬込斎場連絡協議会に参加し，火葬場運営計画等を協議する。 ③21年度と同様に、第2斎場整備の検討を進める。							
意図 （何を狙っているのか）	死者の火葬は必要不可欠であり，葬祭場に対する市民の需要に応え，環境及び利便性にも配慮した斎場の円滑な運営を図る。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	20年度	21年度		22年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	斎場数	箇所	1	1	1	1	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	馬込斎場の式場数	室	4	4	4	4	
	指標2	火葬炉の数	基	15	15	15	15	
	指標3							
成果指標	指標1	馬込斎場の施設利用件数（四市合計）	件	6,882	7,000	7,113	7,220	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	3207	事務事業名称	環境衛生事務事業				所属名	健康福祉課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			火葬場の件数増加に対応するため、施設環境等へ配慮し、第2斎場の整備をはじめ事業の推進を図る。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☒ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			第2斎場整備等により費用は増加するが、火葬炉需要への対応が図られる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
市民からは、近距離に立地する火葬場設置要望がある。									

所属長コメント	第2斎場の整備については、事業主体が四市複合事務組合であるが、候補地が八千代市に決定していることから組合及び関係市と協力して事業を円滑に進めて参りたい。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			第2斎場の整備については、課題解決に努め、順次推進すべき。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☒ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									